

(様式)

環境学委員会分科会の設置について

分科会等名：都市と自然と環境分科会

1	所属委員会名	環境学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>環境学委員会では地球社会の自然環境・社会環境・文化環境の持続性のために、それぞれ生物・生活・景観の多様性が不可欠で、そのための具体的な行動が重要と考えている。</p> <p>人工巨大都市東京には、国分寺崖線や多摩川など自然的緑地、上野公園、皇居、日比谷公園、御苑、神宮内外苑など歴史的緑地が、広域緑地回廊を形成し、生物生息や環境改善に寄与してきた。</p> <p>本委員会は、以上のような条件にある東京都市圏の緑地の成立、成長、変化、都市圧の影響を多面的・総合的に考察すると共に、一方で神宮内外苑における自然環境調査結果を分析するなどして、より具体的な都市と自然の共生、持続的管理の条件や指針を導く。</p>
4	審議事項	<p>① 東京の都市の発達と自然的歴史的緑地形成史の検討</p> <p>② 神宮内外苑をケースとした都市環境の変化と樹林の生長・変化・影響や環境圧に伴う生物生息、生物多様性、土壌環境の変化等予測と総括にもとづく指針の作成</p>
5	設置期間	時限設置 平成 年 月 日～平成 年 月 日 常設
6	備考	